



HOKKAIDO UNIVERSITY HOSPITAL 地域医療連携福祉センター NEWS LETTER

No. 1 4

北海道大学病院 臨床研究中核病院整備事業

北海道大学病院は、厚生労働省が公募した「平成24年度臨床研究中核病院整備事業」の一施設として採択され、10月26日より正式に事業をスタートいたしました。

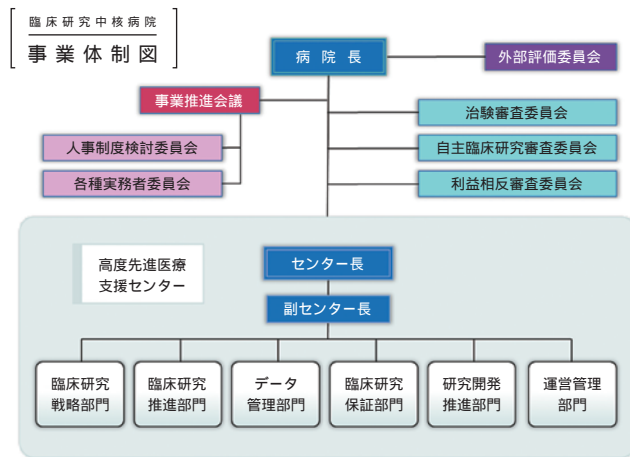
本事業は、日本発の革新的な医薬品・医療機器等の創出、難治性疾患や小児疾患等の新規治療開発、最適な治療法の確立をめざし、国際水準の質の高い臨床研究を実施することを目的としており、当院は臨床研究中核病院としてその中心的な役割を果たします。

事業期間は、平成28年度までの5年間で、毎年度、設備・組織の基盤整備に5億円程度、及び研究費に1億円程度が交付され、総額約30億円となるものです。

この中で北海道大学病院は、以下の5点を柱とした事業を推進し、「信頼される臨床研究」を北海道から世界へ発信する「臨床研究拠点となるべく尽力してまいりますので、ご理解・ご協力のほどお願い申し上げます。

以下の5点を柱とした事業を展開することで日本の臨床研究の推進に貢献いたします

- 病院長の責任下での体制の確立
- 出口を見据えた臨床研究体制の整備
- ICH-GCPIに準拠した臨床研究の実施
- 多施設共同研究体制の整備
- 国民の理解に基づく臨床研究の実施



《第一回 臨床研究中核病院事業シンポジウム 開催》

本事業の開始にあたり、11/7(水)京王プラザホテル札幌エミネンスホールにおいて「第一回臨床研究中核病院事業シンポジウム」が開催されました。講演会には医療機関、製薬会社の関係者及び一般市民の方等、総勢125名の方にご出席いただきました。講演内容に会場からも多数質問が上がり、大変有意義なシンポジウムとなりました。

今後も当センターではこのようなシンポジウムを定期的に行い、臨床研究を通じた新しい医療の発展に貢献して参ります。今後とも宜しくお願い申し上げます。



